

# 2024 年度事業報告書

(2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで)

## I. 事業の実施状況

### 1. 奨学援助事業

当財団は、1977 年 2 月に故樺山純三が私財を投じて設立しました。設立 47 年目を迎えた本年 3 月には第 45 回目の大学学部学生 36 名の卒業生を社会に送り出すことができました。大学学部学生採用者は累計 2,270 名、外国人大学院留学生採用者は累計 290 名となりました。

#### (1) 奨学生募集・選考

当年度も推薦依頼大学 40 大学と設立者出身地の小諸市教育委員会に、当財団の採用基準に従い、学内選考を行ったうえでの大学学部学生の推薦をお願いしました。外国人大学院留学生については、新型コロナウイルス感染拡大のため来日できる留学生の人数が著しく減少した後の留学生事情の変化を鑑み、当年度も募集を休止しました。

##### ① 大学学部学生

第 48 回大学学部学生として 47 名の推薦があり、書類選考の結果 16 名合格し 16 名が採用となりました。

##### ② 外国人大学院留学生

募集休止のため 0 名（寄宿舎奨学生については募集を継続）

##### ③ 寄宿舎奨学生（樺山奨学会館）

2012 年度より始めた無償貸与の寄宿舎奨学生について、各大学から推薦された 5 名（外国人大学院留学生）が入居しました。

#### (2) 奨学金給付

##### ① 新規奨学生への給付

新規採用された第 48 回大学学部学生 16 名に対して、月額 6 万円を給付しました。

##### ② 継続奨学生への給付（大学学部学生 2.3.4 年生）

継続給与対象奨学生から提出された書類に基づき奨学生選考委員会が審査した結果、第 45 回大学学部学生 36 名（成績良好 35 名厳重注意 1 名）、第 46 回大学学部学生 37 名（成績良好 35 名注意 1 名厳重注意 1 名）に対し継続給付を決定し、73 名に月額 4 万円を給付しました。第 47 回大学学部学生 14 名（成績良好 14 名）に対し継続

給付を決定し、月額 6 万円を給付しました。合計 87 名が継続給付となりました。

(3) 学習奨励金給付

奨学生選考委員会による継続審査結果に基づき、継続奨学生の成績優秀者 10 名に学習奨励金 5 万円を給付しました。

この結果、新規奨学生、継続奨学生への奨学金総支給額と学習奨励金（奨学金）給付額の合計は 56,960 千円となりました。

(3) 交流活動

① 大学学部学生 2 年生研修会合

2024 年 4 月 20 日（土）～21 日（日）に新 2 年生と小田原・熱海を訪れました。

グループに分かれてのディスカッションと発表、観光で交流を深めました。

② 第 48 回新規奨学生歓迎オリエンテーション

2024 年 9 月 29 日（日）に樫山奨学会館で開催しました。

選考委員 4 名と新規採用された奨学生 16 名が集まりました。

③ 第 32 回 外国人大学院留学生会合

外国人大学院留学生の採用を休止しているため開催を見送りました。

④ 第 47 回 全国会合

2024 年度も形を変えて、10 月 29 日（日）に「成績優秀賞 授与式」として、成績優秀者 10 名と選考委員 4 名が集まり樫山奨学会館で開催しました。

⑤ 卒業を祝う会

2025 年 3 月 2 日（日）に樫山奨学会館で第 45 回目の大学学部学生の卒業を祝う会を開催しました。2021 年に入学し、コロナ禍のために一度も宿泊できるイベントが開催できなかった学年であるため、希望する卒業生を対象に前日 3 月 1 日（土）から「卒業旅行」として創設者樫山純三の故郷小諸市を訪れました。

樫山奨学会館で全員合流し、理事長から最後の奨学金とお祝いのメッセージカードと卒業記念品を、出席した 20 名の卒業生に手渡しました。

⑥ OB・OG 会

卒業後も年代や国の垣根を越えて末永い交流が続くようにと願い、家族ぐるみの参加を募っております。

10 月 19 日に、関西 OBOG 会を開催しました。関西の OBOG とその家族が 50 名以上集まりました。

本年度から隔年開催となりましたため 2024 年度は関東 OBOG 会の開催はありません。

(4) 会報

当財団の会報誌「かしの芽」を年 2 回（第 96 号、第 97 号）発行しました。

## 2. 横山純三賞事業

### (1) 表彰事業

当財団設立 30 周年を記念して設立しました社会科学分野の現代アジア研究の著書の表彰で、6 名の選考委員による横山純三賞選考委員会で横山純三賞の受賞者を決定しました。

2024 年度もコロナ禍以前の規模で表彰式を行いました。

### (2) 横山セミナー助成事業

現代アジア研究者による学問的に水準の高い研究会・シンポジウムに対して「横山セミナー」として資金助成をする事業を 2016 年度から始めました。

第 8 回は、2024 年 6 月 15 日（土）に開催しました。

## II. 財産の状況

### (1) 基本財産について

基本財産は株式会社オンワードホールディングス株式 8,710,970 株を主とし、他に定期預金並びに世田谷区代沢所在の土地 1,652.89 m<sup>2</sup>があります。

2024 年度は基本財産である株式会社オンワードホールディングス株式の配当が 1 株につき 20 円でした。

### (2) 特定資産について

特定資産は、公益目的保有財産、管理用財産、資産取得資金、特定費用準備資金及び引当資産として積み立てています。正味財産増減計算書内訳表において、公益目的保有財産、資産取得資金、特定費用準備資金として積み立てている金融資産の運用益は公益目的事業会計に、管理用財産及び引当資産として積み立てている金融資産の運用益は法人会計に掲載しています。

現在の積立金額は財産目録記載の通りです。

当期支出は事業費、管理費とも予算内の支出となっています。

以上の結果、正味財産期末残高は 80 億 26 百万円となっています。

2024 年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。